

Kazu Wakita

- 1908年 6月7日、東京都港区に生まれる
- 1923年 旧制青山学院中等部中退、渡独
- 1925年 ベルリン国立美術学校入学
- 1930年 ベルリン国立美術学校卒業、同校より金メダル受賞
- 1932年 太平洋画会入選
- 1933年 光風会展光風会展賞を受賞、帝展入選
- 1934年 大森区久ヶ原にアトリエをかまえる
猪熊弦一郎、長谷川三郎らと交友
- 1935年 初個展開催
- 1936年 猪熊弦一郎、小磯良平ら8人の仲間と新制作派協会(現在の新制作協会)を結成
第一回新制作派協会展に「ジャズバンド」「ダンス」、「二人」を出品
- 1937年 ブブノワ女史に多色石版画の指導をうける
- 1943年 フィリピン、マニラ陸軍報道部勤務
- 1944年 内地連絡のため帰還
- 1945年 アトリエが戦災で消失、戦前の作品の大部分を失う
神奈川相模湖付近に集団疎開
- 1949年 世田谷のアトリエ付き住居を買い求め、疎開先から帰京
- 1951年 第1回サンパウロ・ビエンナーレ出展
- 1952年 パリのサロン・ド・メ、ピッツバーグ国際展参加
- 1955年 第3回日本国際美術展「あらそい」にて最優秀賞受賞
- 1956年 第7回毎日芸術賞受賞
第28回ヴェネチア・ビエンナーレ出展
「あらそい」にてグッケンハイム国際美術展国内賞を受賞
米務省人物交流部招聘により米国各地を視察旅行
その後ニューヨーク、パリに長期滞在
- 1957年 ニューヨークで個展開催
- 1959年 東京藝術大学の非常勤講師となる
- 1962年 長男を伴いインド、中近東、アフリカ、欧州、米国を回遊
- 1964年 東京芸術大学助教授となる
- 1966年 渡米、メキシコを回遊
- 1968年 東京芸術大学教授となる
- 1970年 吉村順三設計による、軽井沢のアトリエ山荘が完成(脇田美術館の前身)
東京芸術大学教授を退官
- 1977年 静養のためハワイ滞在、ハワイにて79年心臓バイパス手術を受ける。
- 1991年 軽井沢に脇田美術館開館
勲四等旭日小綬章受章
- 1995年 日比谷の第一生命ビル本社に、常設ギャラリーが開廊
- 1998年 文化功労者に選出
- 1999年 東京芸術大学名誉教授に就任
- 2005年 詩画集『女のひとと鳥』発刊、第69回「新制作展」出展
11月27日逝去